



川口市三曲連盟による演奏



アンサンブルリハベルテ吹奏楽団による演奏

## ●新春交礼会

1月6日リリアで開催。各種団体や町会関係者など約1,800人が参加。川口鷹消防組の木遣など市民参加の演出に続いて式典が行われ、盛大に新年の門出を祝いました。



川口市合唱連盟による合唱



川口鷹消防組木遣保存会による木遣



ロンドンオリンピック日本代表 上山容弘選手によるトランボリンの演技



## ●川口市はたちの集い

成人の日の1月14日、リリアで開催。今年、市内で成人を迎えたのは5,335人。街中が銀世界となったこの日、新成人を中心とした実行委員会が企画・実施するイベントには3,274人が参加し、久しぶりの再会を喜び合いました。





## ●市民スケートレクリエーション大会

1月20日グリーンセンターアイススケート場で開催。種目別の競技や親子競技に参加者は氷上の楽しいひとときを過ごしました。



## ●アートな年賀状展2013

1月8日から27日までアートギャラリー・アトリアで開催。応募のあった個性あふれる約450枚の年賀状を、訪れたかたがたが鑑賞しました。また、19日の関連イベント「アートなコマをつくらう」では、子どもたちが作ったオリジナルのコマを回して楽しみました。

# ひと・歴史・かわぐち

このコーナーでは「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」に登場した川口ゆかりの人物を紹介していきます

### 「鳩ヶ谷に生きた地頭職」

鳩ヶ谷兵衛尉重元

今回は、鎌倉時代に鳩ヶ谷郷(鳩ヶ谷地区を中心とした地域)の地頭職(幕府が土地や百姓を管理支配するために配置した職)にあった鳩ヶ谷兵衛尉重元を紹介します。

鳩ヶ谷重元は、鎌倉時代の鳩ヶ谷郷の地頭職でした。時と相手は不明ですが、境相論(所領の境界を巡る訴訟)を行っていました。その際に、懸物押書(万が一自分が負けたときには所領を相手方に渡すことを誓った文書)を提出しましたが敗訴してしまいます。

鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』寛元元年(1243)3月12日には、鳩ヶ谷重元はその判決を不服とし、鎌倉幕府に再審議を求めたところ、奉行人は「懸物押書を提出している以上、再審議は行わない」と却下します。ところが、臨時の評定(裁判)が行なわれることに記されていますが、結果は不明です。

次に、鳩ヶ谷重元に関する文章が登場するのは、建長8年(1256)6月2日です。鎌倉幕府は奥大道(鎌倉街道中道)後の日光御成道に出没する夜討や強盗の取締りを道沿いの地頭職に命じていて、その中に「鳩井兵衛尉跡」(鳩ヶ谷郷を継承した人)との記述があることから、鳩ヶ谷郷の地頭職は鳩ヶ谷重元ではなかったと考えられます。では、幕府に命じられた鳩井兵衛尉跡とは誰なのか。鳩ヶ谷重元の子孫なのか、また他の人であるのかは、記録がないことから明らかではありません。

ちなみに、鳩ヶ谷・鳩井の字に違いがありますが、鳩ヶ谷地区を中心とした地域は鳩ヶ谷・鳩井と混用して使われていたため、鳩ヶ谷・鳩井は同一と考えられます。

このようなことから、鳩ヶ谷重元は鎌倉時代に鳩ヶ谷地域に実在した人物ということがわかります。

参考『鳩ヶ谷市史 通史編』平成4年12月28日 鳩ヶ谷市

